

平成29年度 3月号



新座市立第二中学校
新座市野火止 7-17-10
電話 048-477-1212

新座二中だより

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

真理を胸に刻む生徒 ともに夢を語る生徒をはぐくみます

校長 田村 和昭

先日、耐火書庫に保管されている卒業生台帳を開きました。そして、45年前の昭和48年3月15日に举行された、第1回卒業証書授与式を想ってみました。

「卒業証書 ○○ ○○ 右の者は中学校の課程を卒業したことを証する 昭和48年3月31日 埼玉県新座市立第二中学校長 千葉 不二郎 第1号」と初代校長が朗々と読み上げ、卒業生に卒業証書を手交する姿が目の奥に浮かびました。第1回卒業生は171人で、今は60歳になっています。また、昨年呼名された最後の卒業生は、第14170号です。つまり14170人の二中生が社会に巣立ち、各分野で活躍をしているということになります。歴史と伝統を感じます。

今年、第46回卒業証書授与式を3月15日に举行し、3年生318人に卒業証書第14171号から第14488号を授与する予定です。



さて、私が理想とする学校は、本校の学校像でもある“真理を胸に刻む学校 ともに夢を語る学校”です。ですから、私は教師となって初日から“真理を胸に刻む生徒

ともに夢を語る生徒”をはぐくむため、自分なりにではありますが四苦八苦しながらも全力で生徒と向き合ってきました。

真理を胸に刻む生徒とは

真理を胸に刻むこととは、日常の小さなでき事にも五感（目・耳・舌・鼻・皮膚を通して生じる五つの感覚）を働かせ、楽しみ感動することだと私は思っています。五感を働かせ様々な身の回りのことに興味をもち深く掘り下げ考え学ぶことで、物事の真理に迫ります。中学校のわくわくする授業こそがその核です。物事の真理を胸に刻む生徒こそが、やがて日本社会さらには世界を正しい方向に導いていくのです。

ともに夢を語る生徒とは

ではともに夢を語る生徒とは。朝起きて「よーしやってやろう」という健康な心をもつ、人と協力し物事に対し最後まで粘り強く取り組むことで「やったー」と充実感と達成感を味わう生徒です。ときには思い通りいかないことでさえ自身の糧にし、乗り越えていく…。夢を語る生徒とは、常にエネルギーに満ちあふれて、そのパワーを蓄えています。二中生は、三重大行事を中心に宿泊学習、委員会活動や部活動等でたくさん経験をしてきたことで、ともに夢を語る友に出会ったのではないのでしょうか。

この第二中学校で学んだこと、感じたことを生かし、一生涯を通じて“真理を胸に刻む人 ともに夢を語る人”になることを願います。第46回卒業生318人の栄えある人生を教職員一同応援しています。